

東京成徳大学・東京成徳短期大学

2019年度入学試験問題

【出題意図】

※一般入試 A・B・C 日程の解答は冊子『2019年度 入試問題集』に掲載しています。『2019年度 入試問題集』をご希望の方は、入試広報課へご請求ください。

 0120-711-267 (フリーダイヤル)

目 次

1. 国際学部 国際学科	1
2. 応用心理学部 臨床心理学科	4
3. 応用心理学部 健康・スポーツ心理学科	7
4. 子ども学部 子ども学科	8
5. 経営学部 経営学科	10
6. 幼児教育科	13

1. 国際学部 国際学科

AO入試1期【出題意図】

1. AO入試1期の試験では、現在世界中が直面し、戦後最大の危機と言われている難民問題に対し、日本の現状と志願者の考えを問う。この問題は受験生にとっては馴染みが薄い可能性があるが、東京でのイベントや日本における「難民認定制度」を取り上げることで、日本に住む我々にも関わる身近な問題であることを強調した。さらに難民数や各国の受け入れ数など具体的な数字を示し、他国と日本の状況を比較して考えることで世界から見た日本や日本人の立場からの視点が重要であることを示唆している。
2. 問いに対しては、高校生である現時点でできることは限られると考え、大学生という成長した将来の姿を想定して解答してもらう。あえて高校生の意見を提示したのは、知る、理解するといった曖昧な解答ができないようにする意図がある。
3. 本学部が目指すグローバル人材の資質を測るため、海外にいる難民のみならず日本国内にいる難民に対して、大学生の自分が能動的に実行できること、もしくは大学生の時でなくとも卒業後の実行に向けて大学生としてできる準備など具体的な内容の解答を求める。
4. 志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく課題発見・課題解決能力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求めた。

AO入試2期【出題意図】

1. AO入試2期の試験では、日本においてニュースなどで大きく取り扱われた「下町ボブスレー」に関し、なぜこの問題がこれほど大きな話題となったのか、またそこから考えられる日本が抱える現状の問題はなにかに対して志願者の考えを問う。
2. 課題文中に括弧つきであげられる「夢」「運命共同体」「日本すごい」「ジャマイカ」「アンダードッグ」「下町」「ものづくり」といったキーワードに対して、志願者がどのような考えを持っているかを問う。
3. 本学部が目指すグローバル人材の資質を測るため、この問題をとおして、技術過信による国際社会のなかでの競争力の衰退といった日本経済全体の問題についての志願者の感情論にとらわれない冷静な原因分析を解答に求める。
4. 志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく課題発見・課題解決能力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

AO入試3期【出題意図】

1. AO入試3期では、2020年東京オリンピック・パラリンピックにあわせてサマータイムを導入しようという議論を素材にして、グローバル化の進む世界の中での日本の現状と立場についての志願者の認識を問う。
2. サマータイムに関して、本文に示されている日本以外の世界の国々の現状や日本の過去の経験などを参考に、日本にサマータイムを導入することでどのような社会的影響が生じるか等の視点を含めて自分の考えを論理的に示すことが重要である。
3. 本学部が目指すグローバル人材の資質を測るため、日本国内の問題に関しても他国との比較に目を向けられる多面的・多角的な視点を持ち、多種多様な考え方を認めた上で自らの主張を的確に伝える説得力のある解答を求めらる。
4. 志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく課題発見・課題解決能力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求めた。

推薦入試1期【出題意図】

1. 問題文選定理由

とりわけトランプ米大統領の登場以来、世界的に顕著な事象となっている多様性とそれに対する不寛容がテーマの事件を取り上げた記事を読ませたが、事件そのものの知識がなくともテーマ自体は国際的な広がりを見せており問題自体の認識は可能であると予想される。また、SNSの活用方法が論点になっており、高校生にとっては身近なテーマであると考えられる。その上で、SNSによる「晒し」が誤認であった事件のため、内容の十分な理解のためには注意深い読み込みが必要とされる。

2. 内容理解のポイント

問題文には、「白人至上主義者」という高校生には聞き慣れない単語が登場するが、「人種差別主義者」という語も別にあり、これら二つの用語がほぼ同義で用いられていることは、読んで理解できると考える。一方の「晒し」というキーワードもSNS等に親しんでいる高校生の理解の範囲内であると考えられる。

3. 問題意識

アメリカにおける人種差別やその他の差別等については高校の授業でも学ぶ内容であり、現在もグローバルな課題として存在している。今回の問題文に取り上げたものは、近年のアメリカにおいてそれが再燃したものであり、本学科で学ぶ学生はこうした事象についてある程度の問題意識や思考の経験があることが望ましい。

4. 課題発見・課題解決力、表現力

事件の複雑な経緯を理解する読解力と判断力、および国際的な広がりを見せている問題へに対して、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく課題発見・課題解決能力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明し展開する力を求めた。

推薦入試 2 期【出題意図】

1. 問題文選定理由

現在日本社会が直面している外国人労働者依存及び受け入れに対し考えを問う。外国人労働者がコンビニなどで働く姿をしばしば見かける傍ら、国会での外国人労働者受け入れ拡大審議などを見聞きすることも多くなっている。身近でありながらも切迫した状況にある外国人依存及び受け入れ問題について本問題文を通して読解、論理的に説明させることで、本学部が目指す日本国内でも求められるグローバル人材の素質を測る。

2. 内容理解のポイント

外国人労働者依存度に関する具体的な業種や県名、数値を示し、外国人労働者依存は単なる人手不足の解消に留まらず、地域（日本）の名産や手法の担い手問題など複合的な問題であることを示唆している。不可視な面にも外国人労働者の支え、繋がりがあつたことを理解する必要がある。

3. 問題意識

外国人労働者に対する問題意識・課題意識のみならず、地域産業や後継問題など日本国内の事象についてもグローバルな視点に立つた問題意識や思考の経験があることを望む。

4. 問題発見・課題解決力、表現力

日本の産業における外国人依存の現状を理解する読解力と判断力、および日本社会が直面している問題に対してグローバルな視点に立つた柔軟な発想に基づく課題発見・課題解決能力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明し展開する力を求めた。

グローバル・チャレンジ入試【出題意図】

英作文のテーマとしては、高校生が経験等に基づいて、ごく普通に考えを述べられる「校則」とした。英語の語彙、語法、文法に関わるスキルや、表現力、パラグラフ構成力など、表現力全般についての力を測る。

2. 応用心理学部 臨床心理学科

AO入試1期【出題意図】

今回の内容はこれまでのAO入試の小論文試験と同様に、応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシーに従い作成されています。本年度は特に「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」に沿った内容となっています。

また今回の設問では、日常的な課題に対する興味関心や、設問内容を正しく理解して論理的に思考する能力、それらを分かりやすく表現する能力などをみています。

AO入試2期【出題意図】

1980年代の不登校の増加を背景に「心の居場所」に関する議論がなされてきて久しい。

「児童生徒が存在感を実感することができ、精神的に安心していることのできる場所」という文科省の定義（学校不適応対策調査研究報告書、1992）から明らかなように、「居場所」には、ただ「人がいるところ」という物理的な意味だけでなく、心理的な側面が強調されている。近年では、インターネットやSNSの普及により、ますます「居場所」は多様化し、「居場所」に関する心理も複雑化している。

本問題では、このような現状に対しての受験生の関心の高さ、及び、「居場所」についての問題を提起し、問題解決に向けて論理的に思考する能力をみる。また、応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシー、「3. 将来、心のケア、支援にかかわる仕事（スクールカウンセラー、医療・福祉領域における心理職など）や職場などの対人関係にかかわる仕事をめざす人」に対応し、「心の居場所づくり」に対しての心のケアや支援の視点の有無を評価する。さらにアドミッションポリシー、「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」に沿い、「あなた自身の心の居場所」というキーワードから生じた自分の考え方（＝心の理解）についての姿勢や表現力をみる。

なお、居場所の有無による人格的な評価は意図していない。

AO入試3期【出題意図】

臨床心理学において重要な要支援者が感じている気持ちに寄り添うことができるか、そのような場面を想像することができるか、またそれらを言葉として論理的に表現できるかを問うている。

以上の問題から、臨床心理学で求められる他者への共感性や論理性・表現力の高さなどについて推定する。

解答例・判定基準：

以下の点が記述されている場合、加点を行う。

1. 「カウンセリング＝話を聞く」という一般的なイメージに縛られずに解答できている。
2. 記述から「今は話せる気持ちではない要支援者の気持ち」に共感するような意図が感じられる。
3. 「あなたのことを気にかけている」と伝える、「定期的に声掛けをする」、「話したくなったら伝えてください」と伝えるなど、許容可能な行動を分かりやすく記述できている。

以下のような場合、減点を行う。

1. 問題文自体への否定（「それでも詳細に聞くべきである」など）。
2. 書かれた理由が合理的とは思えない場合。
3. 要支援者への配慮が欠けた言動と思えるような記述がある場合。

推薦入試 1 期【出題意図】

今回の内容は、アドミッション・ポリシー（求める学生像）にある「3. 将来、心のケア、支援にかかわる仕事（スクールカウンセラー、医療・福祉領域における心理職など）や職場などの対人関係にかかわる仕事を目指す人」と関連した内容となっています。

また、今回の設問では、対人援助側のこころのケアに対する興味関心、質問の意図を正しく理解し、論理的に思考し、自分の考えをわかりやすく表現する能力などをみています。

推薦入試 2 期【出題意図】

今回の内容は、アドミッション・ポリシー（求める学生像）にある「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」と関連した内容となっています。

出題テーマは、思春期真っ只中を生きている受験生にとって身近な内容で、スクールカウンセラーをはじめとする教育領域での仕事を希望している人にとっては、将来的に援助者として必ず関わることになる問題です。今回の設問では、出題テーマに関する興味関心、質問の意図を正しく理解し、論理的に思考し、自分の考えをわかりやすく表現する能力などをみています。

外国人留学生入試 1 期【出題意図】

応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシー「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係作り出すことに興味・関心のある人」にしたがい作成。他者の立場になってコミュニケーションをとろうとすることができるか、そのような場面を想像し適切な行動を考えることができるか、またそれらを言葉として論理的に表現できるかを問うている。

本問題から、日常における対人関係に対する興味関心や、設問内容を正しく理解して論理的に思考する能力、それらを分かりやすく表現する能力などをみている。

外国人留学生入試 2 期【出題意図】

応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシー「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係作り出すことに興味・関心のある人」に関連した出題。

課題文を正しく読み取り、これまでの人生を振り返ることで今の自分を作った体験、それも他者との関係の中で起きた体験を記述できるかを問うている。

本問題から、日本語の読み取り能力（課題文の趣旨を理解し、「珠玉の言葉」の意味を正しく読み取れているか）、他者との関係の中で作られる自己について向き合う能力、そしてそれらを論理的に表現する能力をみている。

社会人入試【出題意図】

今回の内容は、アドミッション・ポリシー（求める学生像）にある「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」と関連した内容となっています。

出題テーマは、思春期真っ只中を生きている受験生にとって身近な内容で、スクールカウンセラーをはじめとする教育領域での仕事を希望している人にとっては、将来的に援助者として必ず関わることになる問題です。今回の設問では、出題テーマに関する興味関心、質問の意図を正しく理解し、論理的に思考し、自分の考えをわかりやすく表現する能力などをみています。

3. 応用心理学部 健康・スポーツ心理学科

AO入試1期【出題意図】

(引き受けるかどうかにかかわらず、) 自己の有する基礎的な学力に基づいて、問題を主体的に正確にとらえ、前向きに取り組む姿勢があるかどうか、適切な情報収集とそれを根拠とした状況の分析に基づいて、正しく判断できるかどうか、課題解決場面において、論理的な思考に基づいて適切な目標を設定できるかどうかを評価する。あわせて、自分の思考の過程を自覚し、基礎的な学力を活用して、論理的に表現できる能力を評価する。

AO入試2期【出題意図】

自己の有する基礎的な学力に基づいて、問題を主体的に正確にとらえ、前向きに取り組む姿勢があるかどうか、適切な情報収集とそれを根拠とした状況の分析に基づいて、正しく判断できるかどうか、課題解決場面において、論理的な思考に基づいて適切な目標を設定できるかどうかを評価する。あわせて、自分の思考の過程を自覚し、基礎的な学力を活用して、論理的に表現できる能力を評価する。

AO入試3期【出題意図】

自己の有する基礎的な学力に基づいて、問題を主体的に正確にとらえ、前向きに取り組む姿勢があるかどうか、適切な情報収集とそれを根拠とした状況の分析に基づいて、正しく判断できるかどうか、課題解決場面において、論理的な思考に基づいて適切な目標を設定できるかどうかを評価する。あわせて、自分の思考の過程を自覚し、基礎的な学力を活用して、論理的に表現できる能力を評価する。

推薦入試1期【出題意図】

自己の有する基礎的な学力に基づいて、問題を主体的に正確にとらえ、前向きに取り組む姿勢があるかどうか、適切な情報収集とそれを根拠とした状況の分析に基づいて、正しく判断できるかどうか、課題解決場面において、論理的な思考に基づいて適切な目標を設定できるかどうかを評価する。あわせて、自分の思考の過程を自覚し、基礎的な学力を活用して、論理的に表現できる能力を評価する。

推薦入試2期【出題意図】

自己の有する基礎的な学力に基づいて、問題を主体的に正確にとらえ、前向きに取り組む姿勢があるかどうか、適切な情報収集とそれを根拠とした状況の分析に基づいて、正しく判断できるかどうか、課題解決場面において、論理的な思考に基づいて適切な目標を設定できるかどうかを評価する。あわせて、自分の思考の過程を自覚し、基礎的な学力を活用して、論理的に表現できる能力を評価する。

4. 子ども学部 子ども学科

AO入試【出題意図】

「シティズンシップ教育（市民性教育）」について、自分の経験に引き付けて考えることができるか。また、その経験に基づきながら「シティズンシップ教育」の視点を取り入れた自分の意見を分かりやすい文章で表現できるかをみる。「シティズンシップ教育」という言葉を知らなかったとしても、出題文を読解することによって、模擬投票や模擬裁判、議会見学、職場体験、ロールプレイなどがこれにあたるのが理解できる。

自分の経験を踏まえた上で、「シティズンシップ教育」をよりよく現実的に行っていくための解決策や提案の授業・活動案を分かりやすく記述すること、その案に対する自分の意見がしっかり論じられていること。

今回の出題の背景にあたっては、2016年6月以降、公職選挙法等の一部改正により、18歳以上に選挙権が与えられたこと、さらに、2022年の4月以降には、成人年齢が現在の20歳から18歳に引き下げられる予定など、より若い年齢層が政治や社会に関わることが求められるようになったことが挙げられる。こうした若者の社会への参画は、高齢化していく日本において重要な事項であると言える。しかし、若者の選挙投票率の低さが問題として浮かび上がったり、地方議員の不活発さや議員不足、それらによる無投票当選の増加の解決がなされていない問題も浮き彫りになっている。こうした問題に対して、若者が社会に積極的に関わっていくための取り組みを教育機関が行うようになってきた。今回の出題では、受験生が実際に受けてきた具体的な授業や活動を挙げ、それに対する自分なりの意見を述べながら、これから中心となって社会に関わっていくであろう一人として考えを深めてほしい。

推薦入試1期【出題意図】

昨今、子育て環境や家庭の在り方の多様化が顕著である。子どもの最善の利益を尊重するためにも、家庭や保護者の多様なニーズに対応できるよう子ども・子育て支援に関する法令などが整備されつつある。就学前の子どもが育つ場である幼稚園・保育所・認定こども園（以下、「園」）などにおいても、子どもの生活全体が豊かなものとなるよう、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら子どもの保護者に対する支援や地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担うことが定められている。

そこでは、日常の保育に関連した様々な機会を活用し、子どもの日々の様子の情報伝達や情報収集が行われたり、保育の意図の説明などを通じて、保護者との相互理解を図るための努力がなされている。また、こうした園の取り組みを通じた保護者の保育の活動に対する積極的な理解や参加は、保護者の子育てを自ら実践する力の向上に寄与する意義があるという。

問題では、園からの情報に関する子育てへの参考度について尋ねた結果を挙げ、データの読み取り、保育現場での取り組みや子育て支援に関する関心の高さや認識を問い、それらを分かりやすく表現する能力などを以下の2点を通して見ることとする。

- ① 課題文を読解する力を見るとともに、提示されたデータの傾向を読み解き、それらを的確に整理し、要約する能力を見る。
- ② 上記①を基として、幼稚園教諭や保育士・保育教諭に強く求められている複数の資質・能力について、具体的かつ説得力を持って表現する論述力・思考力などを見る。

推薦入試 2 期【出題意図】

第二次世界大戦後の日本においては性別による教育機会の差別は禁止されており、今日では大学等進学率（短大を含む）では女子の方が男子よりも若干高くなっている。一方で、医学部の入試において女子が不利に扱われていた問題に象徴されるように、教育機会におけるジェンダーギャップは依然として存在するといわれる。

今回の試験では、子どもの性別によって母親の進学期待が異なるというグラフを示し、進学期待に差のある理由ならびにその状況に対する考えを述べてもらうこととした。子育て支援に関わる力を身につけたいと考えている者にとって、教育機会の問題や性別による格差の問題は考えていく必要のある内容であり、また、将来のキャリア形成に向けて四年制大学を選ぼうとする者にとって、今回の出題内容は取り組みやすいものであると考える。グラフの読み取り、進学期待に差のある理由の考察、進学期待に差のある状況への見解を通して、知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力を評価する。

5. 経営学部 経営学科

AO 入試 1 期【出題意図】

日本は観光立国を推進しようとしている。特にインバウンドすなわち外国人旅行者を誘致することが課題となっている。地方経済の活性化を目指して、地方では観光地としての魅力を高めることが期待されている。

この問題ではこのような状況を説明する課題文を呈示し、これに対処するため企業が取るべき対策を提案させた。

出典：観光庁ホームページ「観光立国推進基本法」、<http://www.mlit.go.jp/kankocho/kankorikkoku/index.html>（最終閲覧日 2018 年 7 月 1 日）

この問題では三つの観点から解答を評価する。

第一は、課題文の理解度である。解答が課題文の主旨に沿っている程度を査定する。課題文を理解するには、社会の動向に関心に向け、知識を獲得する必要がある。また課題文を読解するため、技能を有している必要がある。

第二は、提案の妥当性である。提案によって問題解決が期待できる程度を査定する。自ら課題を発見しその解決に向けて探究する思考力・判断力を評価する。

第三は、文章表現の適切性である。知的文章として適切に表現している程度を査定する。主張を説得力をもって表現するための表現力を評価する。

AO 入試 2 期【出題意図】

ペットはコンパニオンアニマル化が進んでいる。ペットを家族の一員と見なしたり、高齢者などが癒しの対象としてペットを飼育したりする傾向がある。これに伴いペットに関連する市場規模は増大している。ペットと関連した製品やサービスを今後さらに幅広く提供することが、企業には期待されている。

この問題ではこのような状況を説明する課題文を呈示し、これに対処するため企業が取るべき対策を提案させた。

出典：矢野経済研究所ホームページ「2017 年度ペット関連総市場規模は前年度比 101.0%、1 兆 5,135 億円の見込 ～コンパニオンアニマル化により拡大～」、https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/1892（最終閲覧日 2018 年 7 月 5 日）

この問題では三つの観点から解答を評価する。

第一は、課題文の理解度である。解答が課題文の主旨に沿っている程度を査定する。課題文を理解するには、社会の動向に関心に向け、知識を獲得する必要がある。また課題文を読解するため、技能を有している必要がある。

第二は、提案の妥当性である。提案によって問題解決が期待できる程度を査定する。自ら課題を発見しその解決に向けて探究する思考力・判断力を評価する。

第三は、文章表現の適切性である。知的文章として適切に表現している程度を査定する。主張を説得力をもって表現するための表現力を評価する。

AO入試3期【出題意図】

2018年、イギリスでは王子が結婚し、大きな経済波及効果が生じるという試算が算出された。日本でも近い将来、皇族の結婚が予想される。結婚に伴い新たな生活が始まると、衣食住すべての面において、新たな需要が喚起される。そこで大きな経済波及効果が生じることが予測される。

この問題ではこのような状況を説明する課題文を呈示し、これに対処するため企業が取るべき対策を提案させた。

出典：日本経済新聞（2018年1月3日）ホームページ「挙式の経済効果760億円 英王子と米女優、民間試算」、<https://r.nikkei.com/article/DGXMZO25299280T00C18A1FF8000>（最終閲覧日2018年7月5日）

この問題では三つの観点から解答を評価する。

第一は、課題文の理解度である。解答が課題文の主旨に沿っている程度を査定する。課題文を理解するには、社会の動向に関心に向け、知識を獲得する必要がある。また課題文を読解するため、技能を有している必要がある。

第二は、提案の妥当性である。提案によって問題解決が期待できる程度を査定する。自ら課題を発見しその解決に向けて探究する思考力・判断力を評価する。

第三は、文章表現の適切性である。知的文章として適切に表現している程度を査定する。主張を説得力をもって表現するための表現力を評価する。

推薦入試1期【出願意図】

志望学部を選択する際、考慮する条件の一つに、将来どのような働き方をしたいかがある。個人が働く目的は、単に経済的な理由だけではなく、自己実現などの目的もあると考えられる。また本学部における学びの内容は、働くことと密接に関連している。

この問題では労働観に関する一つの考え方を表した課題文を呈示し、この考え方に沿って自らの働く目的を同定し評価させた。

出典：浦坂純子（2009）なぜ「大学は出ておきなさい」と言われるのか 筑摩書房 ちくまプリマー新書。

この問題では二つの観点から解答を評価する。

第一は、課題文の理解度である。解答が課題文の主旨に沿っている程度を査定する。課題文を理解するには、社会の動向に関心に向け、知識を獲得する必要がある。また課題文を読解するため、技能を有している必要がある。

第二は、文章表現の適切性である。知的文章として適切に表現している程度を査定する。主張を説得力をもって表現するための表現力を評価する。

推薦入試2期【出願意図】

大学進学に際し、専攻する学問領域について、高校生ができる範囲で、理解しておくことが望ましい。それは入学後の学修の準備になるとともに、本人と学問領域との不適合による怠学を防ぐことにも繋がる。

この問題では経営学の概念を説明した課題文を呈示し、経営学を志望する動機について課題文を踏まえて考察させた。

出典：土方千代子・椎野裕美子（2012）経営学の基本がきっちりと理解できる本 秀和システム.

この問題では二つの観点から解答を評価する。

第一は、課題文の理解度である。解答が課題文の主旨に沿っている程度を査定する。課題文を理解するには、この学問領域に関する分析や自己分析が必要である。また課題文を読解するため、技能を有している必要がある。

第二は、文章表現の適切性である。知的文章として適切に表現している程度を査定する。説得力をもって主張を表現するための表現力を評価する。

外国人留学生入試1期【出題意図】

外国人留学生が、入学後に大学の授業を理解するためには、日本語を運用する能力が必要である。ここで日本語の運用能力とは特に、論説文を読解し、論理的に説明する技能を指す。

この問題では、教育の背景にある考え方を国際的に比較する課題文を、呈示した。課題文を読解できている程度を評価する問題と、本人の意見を表現させる問題を設けた。

出典：堀内都喜子 2008 フィンランド 豊かさのメソッド 集英社.

この問題では二つの観点から解答を評価する。

第一は、課題文の理解度である。解答が課題文の主旨に沿っている程度を査定する。課題文を理解するには、自らが受けてきた教育を対象化して客観的に評価することが必要である。また課題文を読解するための、技能を有している必要がある。

第二は、文章表現の適切性である。知的文章として適切に表現している程度を査定する。説得力をもって主張を表現するための表現力を評価する。

外国人留学生入試2期【出題意図】

外国人留学生が、入学後に大学の授業を理解するためには、日本語を運用する能力が必要である。ここで日本語の運用能力とは特に、論説文を読解し、論理的に説明する技能を指す。

この問題では実学の学修を推奨する課題文を呈示した。課題文を読解できている程度を評価する問題と、本人の意見を表現させる問題を設けた。

出典：福沢諭吉（著）佐藤きむ（訳）学問のすすめ 角川出版 角川ソフィア文庫.

この問題では二つの観点から解答を評価する。

第一は、課題文の理解度である。解答が課題文の主旨に沿っている程度を査定する。課題文を理解するには、学問というものに対する一定の見識が必要である。また課題文を読解するための、技能を有している必要がある。

第二は、文章表現の適切性である。知的文章として適切に表現している程度を査定する。説得力をもって主張を表現するための表現力を評価する。

6. 幼児教育科

AO入試1期【出題意図】

最近、買い物をしたり食事の準備をしたりする経験の少ない学生が増えてきている。一方で、幼児教育では「食育」がますます重視されるようになったため、保育者になった際には、こうした経験が重要になる。そこで、受験生の日常生活の中でも買い物・調理・段取りや片づけ等の部分に着目し、生活経験の豊かな学生を選抜することを旨として課題を設定する。その目的をアドミッションポリシーに掲げた内容に照らして整理し、下記の4項目を中心に出题する。

- ① 学ぶ姿勢と創意工夫
 - ・身の回りのもの(栽培物を含む)に関心を持ち、かかわろうとしているか。
 - ・身の回りの材料や用具を使って作り出すことを計画できるか。
 - ・自分の生活経験を生かして考えることができるか。
- ② 深い洞察と柔軟な考え
 - ・子どもが何を楽しめるかについて考えることができるか。
- ③ 保育者になるための資質と適性
 - ・子どもの姿を想像し、子どもの反応や子どもに合ったやり方を具体的にイメージすることができるか。
 - ・子どもの活動を指導する際に、危険なことや気をつけるべきことが具体的に考えられるか。
- ④ 学力
 - ・自分の考えを正しい日本語表記で書くことができるか。
 - ・自分の考えを相手に伝わるように表現できるか。

AO入試2期【出題意図】

近年の学生の傾向として考えられる点は、コミュニケーション能力の低下が挙げられる。保育者になり、幼児を保育する際には、重要なことをいかに創意工夫し、理解しやすいように子どもたちに伝達するかという能力が必要となる。そこで、受験生が経験してきた遠足を題材とし、幼児に伝えやすい視覚教材を作成させ、実際に言葉かけを行ってもらうことで、コミュニケーション能力の豊かな受験生を選抜することを旨として課題を設定する。その目的をアドミッションポリシーに掲げた内容に照らして整理し、下記の4項目を中心に出题する。

- ① 学ぶ姿勢と創意工夫
 - ・製作教材に関心を持ち、かかわろうとしているか。
 - ・実際に視覚教材を材料や用具を使用し、創意工夫をしながら製作することができるか。
 - ・自分のこれまでの遠足の経験を生かして約束ごとやことばかけを考えることができるか。
- ② 深い洞察と柔軟な考え
 - ・子どもが楽しく理解しやすく期待感をもって聞くことができる言葉を考え、十分なコミュニケーションをとり、伝達することができるか。
- ③ 保育者になるための資質と適性
 - ・子どもの姿を想像し、子どもの反応や子どもに合ったやり方を具体的にイメージすることができるか。
 - ・子ども達が動物園に行く為にそのことについての約束を行う際に、危険なこと、気をつけるべきこと、期

待感を持てる言葉かけが具体的に考えられるか。

- ④ 学力
- ・自分の考えを正しい日本語表記で書くことができるか。
 - ・自分の考えを相手に伝わるように表現できるか。

AO入試3期【出題意図】

近年の学生の傾向として、協調性の不足やコミュニケーション能力の低下が課題として挙げられる。保育者になり、幼児を保育する際には、園の中でより良い人間関係を築きながら自らの力を発揮することが必要になってくる。そこで、受験生がこれまでの生活経験を活かし安全の在り方について考え、自分の気づきをグループ協議の中で発信することを通して、人との関係の作り方やコミュニケーション能力の豊かさについて見極めて、受験生を選抜することを目指して課題を設定する。その目的をアドミッションポリシーに掲げた内容に照らして整理し、下記の4項目を中心に出題する。

- ① 真摯な心を持ち、コミュニケーションを大切にすること
- ・相手の考えを理解して受け入れながら、自分の考えを述べようとしているか。
 - ・自分の考えを相手に伝わるように言葉で表現できるか。
- ② 深い洞察と柔軟な考え
- ・描かれている子どもの姿や状況から、様々な状況を思い浮かべ安全についての配慮について考えることができているか。
 - ・様々な状況に応じた発言をしているか。
- ③ 意欲と積極性
- ・自らの意見を積極的に伝えようとする意志が見られるか。
 - ・グループの話し合いを活性化しようとする行動が見られるか。
- ④ 学力
- ・自分の考えを正しい日本語表記で書くことができるか。
 - ・話し合いの論点を的確に捉えて発言できるか。

推薦入試【出願意図】

将来、子どもに携わる者として、子どもに対する興味や関心、考え方を問う。また、基礎知識として、図の読み取り能力を問う。

その目的をアドミッションポリシーに掲げた内容に照らして整理し、下記の4項目を中心に出題する。

- ① 深い洞察と柔軟に考える。子どもを取り巻く今日的課題に広範な関心を持つ。
- ・図から、子どもの数に関する動向を読み取り、今日の子育て社会の現状と課題を考察できるか。
- ② 保育者になるための資質と適性
- ・今日の子どもを取り巻く社会を概観し、適切な対策を検討できるか。
- ③ 学力
- ・自分の考えを正しい日本語表記で書くことができるか。
 - ・自分の考えを相手に伝わるように表現できるか。